

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)出雲殿製造工場&付帯倉庫	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市北区豊岡町454-6、45	構造	S造
用途地域	用途地域 指定なし、防火地域 指定	平均居住人員	70 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年01月20日
敷地面積	5,903 m <sup>2</sup>	作成者	木村 高基
建築面積	2,401 m <sup>2</sup>	確認日	2022年01月28日
延床面積	4,357 m <sup>2</sup>	確認者	鈴木 育恵



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	CASBEE 静岡 2016 年版による評価結果 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	照度が500lx以上1000lx未満。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> = 0.76。 BEI <sub>m</sub> = 0.72。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率87%。
Q2 サービス性能	事務室の天井高2.9m以上。 階高:3.9m以上。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)出雲殿製造工場 & 付帯倉庫新築工事[工場棟]	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-----------------------------	-----	-----	--------	----	----

## 2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7 /5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

## 3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点	3.7
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦ BPI<sub>m</sub> = 0.76 ⑨ BEI<sub>m</sub> = 0.72</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪ 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫ LGS使用している。 ⑬ 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率87%</p>	Q-1 2 2.1 2.2	① 外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.13	② 昼光利用設備	
	Q-2 2 2.2 2.2.1	③ 昼光制御	
	2.2.2 ④	④ 躯体材料の耐用年数	
	2.2.3 ④	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
2.2.4 ④	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
2.2.5 ④	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔		
2.2.6 ④	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔		
2.2.6 ④	④ 主要設備機器の更新必要間隔		
Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出		
3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上		
LR-1 1	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制		
2	⑧ 自然エネルギー利用		
3	⑨ 設備システムの高効率化		
4 4.1	⑩ モニタリング		
4.2	⑩ 運用管理体制		
LR-2 1 1.1	⑪ 節水		
1.2 1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無		
1.2.2 ⑪	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無		
2 2.1	⑫ 材料使用量の削減		
2.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用		
2.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用		
2.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材		
2.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み		
3 3.1	⑬ 有害物質を含まない材料の使用		
3.2 3.2.1	⑬ 消火剤		
3.2.2 ⑬	⑬ 断熱材		
3.2.3 ⑬	⑬ 冷媒		
LR-3 1	⑭ 地球温暖化への配慮		
2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善		
<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点	2.8
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1	⑯ 耐震性	
	2.1.2 ⑯	⑯ 免震・制振性能	
	2.4 2.4.1	⑰ 空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	⑰ 給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	⑰ 電気設備	
	2.4.4 ⑰	⑰ 機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	⑰ 通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点	2.4
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲ 階高3.9m以上。 ⑳ 0.1 ≤ [壁長さ比率] &lt; 0.3。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1	⑲ 階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	⑲ 空間の形状・自由さ	
	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点	2.7
<p>■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/③まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) 特になし。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑤持続可能な森林から産出された木材/⑥温熱環境悪化の改善) 特になし。</p>	Q-3 1	② 生物環境の保全と創出	
	2	③ まちなみ・景観への配慮	
	3 3.2	④ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-2 2 2.5	⑤ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3 2 2.2	⑥ 温熱環境悪化の改善	